

総評

英語が難しかったですが、他はいずれも標準からやや易しめで、全体としては標準的な難易度になりました。

今回の道コンで、問題の読み間違いや、指示の読み落としのような不注意で得点を失ったものはありませんか。理科や社会で、知識があいまいになっている分野はありませんでしたか。間違えた問題の中に、得点アップのヒントが必ずあります。弱点を1つでも補強して、本番の入試に役立ててください。

本番の入試では、いずれかの教科や特定の大問が特別に難しいということがよく起こります。どの人も皆、自分と同じ状況にあるのですから、焦りは禁物です。落ち着いて気持ちを切り替え、他の大問・教科で実力を発揮できるように最善を尽くしましょう。健闘を祈ります。

国語

易しい出題となりました。

㊦は、問一(2)、問六(2)の得点率が低くなりました。問六(2)は、空欄直後の「ならざる事有る無く[無し]」という表現が難しかったと思われます。このような、否定の意味をもつ言葉を二度使用する表現は、古典でよく登場するため、復習しておきましょう。㊧は、全体的によくできていました。㊨は、問二の得点率が低くなりました。自動詞と他動詞に関する問題は、昨年入試で出題されました。それぞれの違いについて確認しておきましょう。㊩は、全体的によくできていましたが、問三では、資料中の「対策していない」や「できていない」といった言葉を、自分なりの言葉に置き換えてしまい、意味が通じなくなってしまう解答が見られました。資料の言葉を使って、解答するようにしましょう。

数学

標準的な難易度の出題でした。

①問4や②のような、確率や統計の分野に得点率の低い問いが散見されます。用語の意味や基本的な値の求め方をしっかり押さえるだけで、理解が進みます。入試までの間に得点源にしましょう。③は比較的よくできています。問2のような変域の問題は、端の値を含むか、含まないかを、よく考えて解答しましょう。④問2、作図はほぼ毎年様々な形で出題されています。∠AEBが60°になるためには、どの角が何度になればよいのか、というように、結果から逆に考える習慣をつけましょう。

⑤の問2(1)、立体の体積の求め方は必ず復習を。

今回の問題同様、入試本番でも相当量の読解・記述が課されると予想されます。時間配分に気を配りつつも、焦ることなく、確実に得点できるようにしましょう。

社会

やや易しい出題となりました。

①は、問3(2)、問4(1)など基本的な問題はよくできていました。また、問5(1)の記述問題もよく書けていました。②問4は、記述問題としては得点率が高くなりました。マゼランの評価を書く問題でしたが、×や△の答案のなかには、マゼランではない人物の評価を書いていたものが多かったため、何を問われているのかよく読んで解答を作成しましょう。③はB問2の得点率が低くなりました。資料の判別問題は、特徴的な項目に着目して判断するようにしましょう。④問5は、平等権は書いていましたが、「違憲審査[違憲立法審査]」を正しく書いていない答案が目立ちました。語句解答の問題で間違えた人は、用語を正しく覚えているか、漢字に間違いはないか確認し、確実に得点できるようにしましょう。

理科

標準的な難易度の出題でした。

①は、基本的な問題が多く出題されていたので、間違えたところは復習しましょう。②は、一部応用的な問題がありましたが、全体としては基本的な内容でした。問3(1)は半分以上の人が間違えてしまったようです。反応ごとの信号が伝わる経路を確認してください。③は計算問題が多かったこともあったためか、全体に難しく、問2と問3の正答率がどれも低くなりました。④は、学習してからの時間が短く十分に定着していなかったかもしれません。残された時間は多くないですが演習を重ねて定着を目指しましょう。⑤は、問2が思考力が問われる問題でしたが、正解できた人が一定数いたようです。順を追って1つ1つ考えることができたかがポイントでした。

英語

やや難しい出題となりました。

①のリスニングは、比較的よくできていました。問4はリスニングとライティングの融合問題です。毎年傾向が変わりますが、入試本番でも焦らずに解答しましょう。②はスペルミスや大文字・小文字の誤りに注意し、確実に得点したいところです。③の長文問題は、問題によって得点率が低くなりました。最後まであきらめずに問題に取り組みましょう。④の英作文は(3)の得点率が低くなりました。時制や冠詞、スペルミスが目立ちました。本番でも同じミスをしないように気をつけましょう。

入試では、記述問題などで中間点が設定されるため、確実に得点を積み上げられるかが重要になります。内容が難しくても、最後まで持てる力を出し切ってください。健闘を祈ります。